

台風期の本格化を前に、「流域治水」を議論！ ～肱川流域治水協議会（第2回）の報告～

令和2年9月に発生した台風第10号では、四国地方で甚大な被害はなかったものの、これからの台風期においても甚大な水害が懸念されているところです。

このような気候変動による水災害リスクの増大に備え、あらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進するため、8月17日（月）に「肱川流域治水協議会」を設置しました。

今回は、去る9月17日（木）、18日（金）に、自治体ごとに開催した協議会において「肱川流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】」について議論し、「流域治水」の今後の方向性を確認しましたので報告いたします。

<第2回 肱川流域治水協議会>

主な内容

- ・従来から河川管理者が実施している、河川整備（ハード対策、ソフト対策）の確実な推進。
- ・気象変動などによる水災害リスクの増大に備えるため、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の対策項目を抽出。

施策は、四国圏広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

《問い合わせ先》 ◎:主たる問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 工務第一課 TEL:0893-24-5188

副 所 長 壬生 恵庫（内線：204）

◎事業対策官 藤田 博史（内線：208）

工務第一課長 三國 宣仁（内線：311）

係 長 井上 博義（内線：312）

愛媛県 南予地方局 大洲土木事務所 河川港湾課 TEL:0893-24-5121

◎河川港湾課長 町田 一益

係 長 稲葉 進

愛媛県 南予地方局 西予土木事務所 建設課 TEL:0894-62-1331

◎建設課長 越智 健二

係 長 白石 智昭

肱川流域治水協議会 構成員

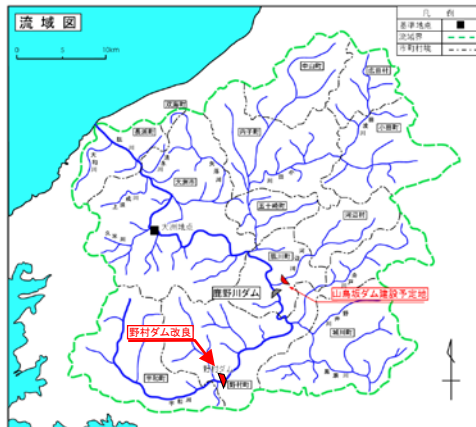
機関	構成員	
	役職	氏名
大洲市	市長	二宮 隆久
西予市	市長	管家 一夫
内子町	町長	稲本 隆壽
愛媛県	大洲土木事務所長	片上 靖
愛媛県	西予土木事務所長	青井 浩治
愛媛県	中予地方局 建設部長	馬越 陽一郎
国土交通省	大洲河川国道事務所長	秋山 慎吾
国土交通省	肱川緊急治水対策河川事務所長	和泉 雅春
国土交通省	山鳥坂ダム工事事務所長	麓 博史
国土交通省	肱川ダム統合管理事務所長	清水 宰
愛媛県	河川課長※	吉良 美知宏
愛媛県	都市計画課長※	石井 利幸
愛媛県	都市整備課長※	橋本 博史

※オブザーバー

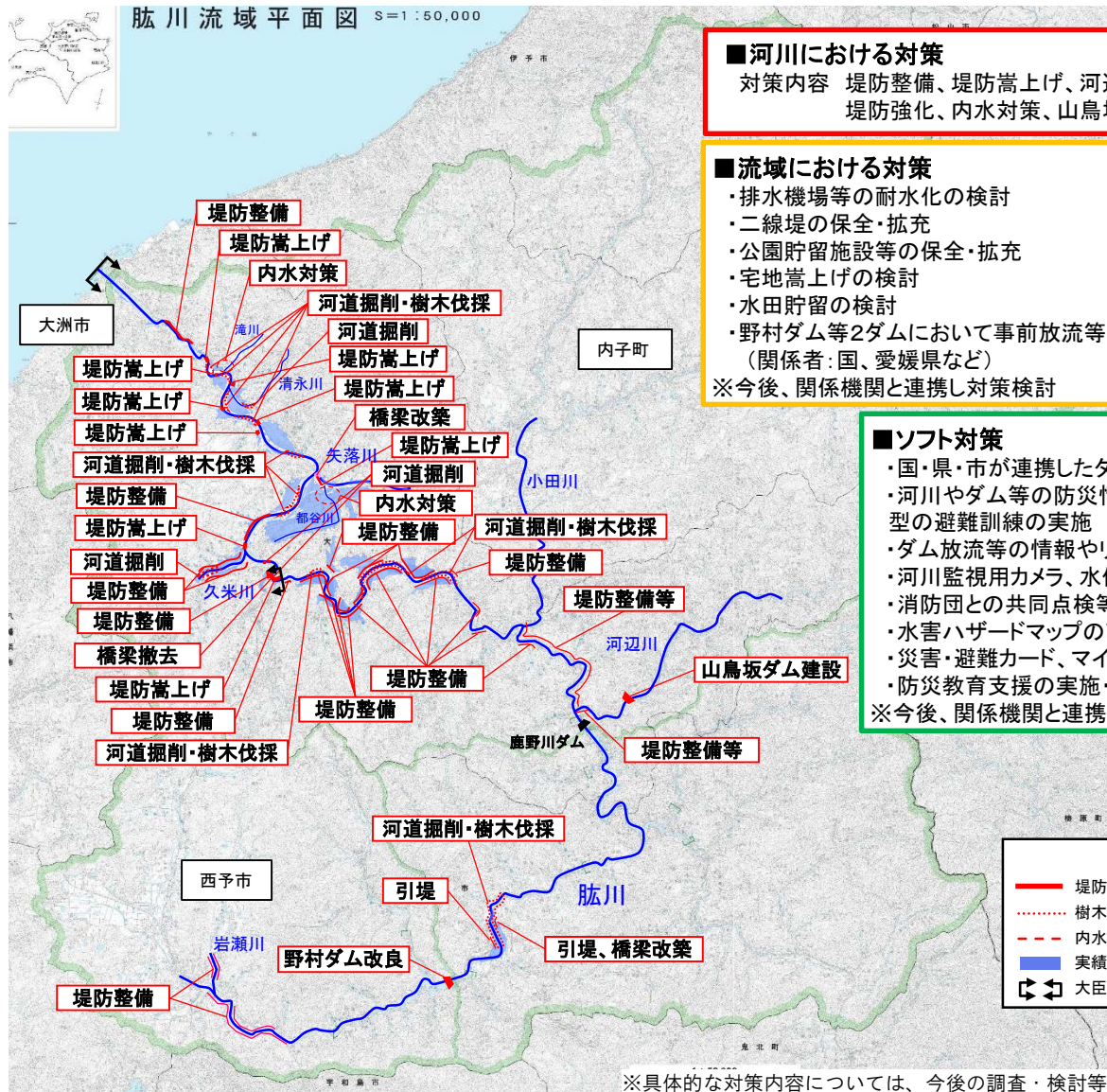
肱川水系流域治水対策プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

～つなごう肱川プロジェクト（平成30年7月豪雨災害の再度災害防止対策）～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、肱川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施することで、戦後最大の平成30年7月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



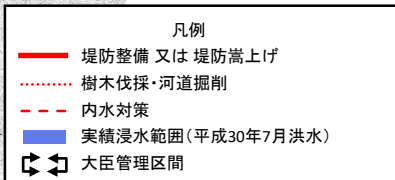
平成30年7月豪雨
床上浸水2,234戸、床上浸水788戸



■河川における対策
対策内容 堤防整備、堤防嵩上げ、河道掘削、橋梁改築撤去、堤防強化、内水対策、山鳥坂ダム建設 等

■流域における対策
・排水機場等の耐水化の検討
・二線堤の保全・拡充
・公園貯留施設等の保全・拡充
・宅地嵩上げの検討
・水田貯留の検討
・野村ダム等2ダムにおいて事前放流等の実施、体制構築 等
（関係者：国、愛媛県など）
※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト対策
・国・県・市が連携したタイムラインの運用
・河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練の実施
・ダム放流等の情報やリスク情報提供の充実
・河川監視用カメラ、水位計の整備
・消防団との共同点検等の実施
・水害ハザードマップの改良・周知
・災害・避難カード、マイタイムライン作成の推進
・防災教育支援の実施・充実 等
※今後、関係機関と連携し対策検討



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。